

大曽根ビオトープ

かいぼり隊 募集

11月3日(水・祝) 9:00~12:30

綾瀬川

かわせみ池

とんぼ池

せせらぎ池

ビオトープとは
生き物が生き続けられる空間

事前学習会のお知らせ

「かいぼりってなぜやるの？」 60名募集

9月20日(月・祝)14:00~16:00

草加市記念体育館 第1・2学習室(定員120名)

草加市瀬崎6-31-1(桑袋ビオトープ公園近く)

講師:片岡友美氏(認定NPO法人生態工房代表)



滞筋(みおすじ)をつける(2017年度都立 井の頭恩賜公園)

★募集要項は裏面

かいぼりイベントの目的:堆積した底泥を日常的な干満差で自然排出させ、常時、池底を乾かせるような環境に整える。

具体的には:長年の泥堆積によってカマ場(水たまり)になってしまった池底に、滞(みお)筋(水路)を掘り、排水網を整備する。

魚の展示・昆虫調査も行います。★見学自由 ★魚とり大会ではありません

主催:NPO法人エコロジー夢企画・大曽根の湿地ビオトープを守る会

後援:八潮市 協力:国土交通省江戸川河川事務所



河川基金

この事業は公益財団法人河川財団による河川基金の助成を受けています。

足立区と八潮市と草加市の県境にある「大曽根ビオトープ」を知っていますか？

1996年に足立区の市民団体「せせらぎグループ」が見つけた1ヘクタールの自然地は、調べてみると企業所有の宅地でした。そこで、1995年までの15年間、汚濁ファースト1を続けていた綾瀬川の浄化対策として、国にここを買い取ってもらいビオトープにすることを提案し、3年後に買取が成功。国と八潮市と足立区行政と市民が話し合っただけで創ったのが「大曽根ビオトープ」です。対岸の足立区「桑袋ビオトープ公園」とツイン事業として国の「地域戦略プラン」と言う補助金で2009年に完成。その後せせらぎグループは、「NPO 法人エコロジー夢企画」としてこの地域の生物調査を続け、親子観察会「エコ夢探検隊」を毎年行ってきました。一方、八潮市には「大曽根の湿地ビオトープを守る会」が誕生し、除草やごみ拾いを行って管理してきました。



(2009年ごろのせせらぎ池)

しかし、完成から10年以上がたち、長年の泥の堆積で池が浅くなり、魚の種類も少なくなっていました。この状況を改善するため、今年ついに2つのグループの念願がかなって、かいぼりを行うことになりました。

都内を中心にかいぼりによる水辺再生に取り組む認定NPO法人生態工房にも協力を頂き、11月3日(月祝)に池底の泥を掻いて掘る「かいぼり」を実施します!

池を再生するためのホンモノのかいぼりを体験してみませんか。

足立区、埼玉県の皆さん、どうか池の再生を手伝いに来てください!

参加申し込み方法 ※小学生は4年生以上、保護者同伴のこと

第一次締切 9月15日

どの地域にお住まいの方も参加できますが、コロナ予防対策及び保険加入のため申し込みが必要です。必要事項を記入の上、FAX 又はメールでご連絡ください。事前学習会は、定員60名ですが、11月3日参加者は優先受付させていただきます。

	件名:9月20日(月・祝) 申込み	件名:11月3日(水・祝) 申込み
氏名	(歳)	(歳)
住所		
連絡先		
電話		
Email		

<9月20日持ち物>

スリッパ・靴を入れる袋、マスクの着用をお願いします。

<11月3日服装・持ち物>

飲み物、長袖・長ズボン、帽子、着替え、長靴、はき替え様の靴、胴長をお持ちの方は胴長、軍手、マスクの着用をお願いします。

草加市記念体育館 ※駐車場はありません

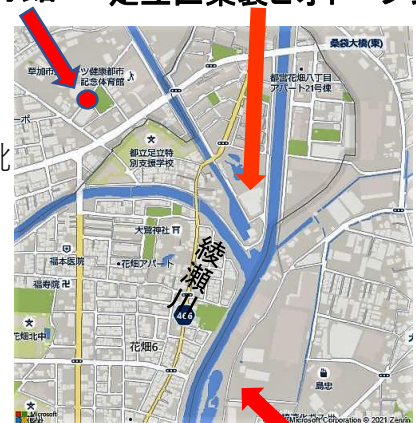
「谷塚駅」東口1番のりばから「花畑桑袋団地」行きの路線で、「草加市記念体育館」バス停

大曽根ビオトープ ※駐車場はありません

千代田線「綾瀬駅」から八潮駅北口行バス「関屋」下車2分

草加市記念体育館

足立区桑袋ビオトープ公園



八潮市大曽根ビオトープ



申込先事務局: NPO 法人エコロジー夢企画

FAX: 03-3886-6554

Email: info@ecoyume.net

<https://www.ecoyume.net>

当日携帯 090-2905-6754

**かいぼり最終
締切
10月24日**